

日本李登輝友の会秋田県支部 設立趣意書

平成 30 年 (2018 年) 9 月吉日

日本李登輝友の会理事・秋田県支部設立発起人代表

佐藤 典子

初夏の緑麗しい平成 19 年 (2007 年) 6 月、李登輝元総統御夫妻は、松尾芭蕉の足跡を訪ねる「奥の細道探訪の旅」で秋田県を来訪されました。岩手から入られた御一行は田沢湖近くの抱返り溪谷上流にある名湯「夏瀬温泉都わすれ」に宿泊され、翌日は芭蕉ゆかりの象潟の蚶満寺をお訪ねになり、午後は国際教養大学で特別講演をされました。

秋田杉の香りも高い美しいプラザクリプトンの講堂で、当時 84 歳とは思えない朗々としたお声で、「22 歳まで日本人であった」と始まったそのご講演は、背中を丸めて縮こまった私たち日本人を励まし、自信を持つよう導いてくださるものでした。

この素晴らしい機会を私たち秋田県民が持てたのは、様々な困難をのりこえ、元総統を招聘し、此の成功裡に導かれた、故中嶋嶺雄・国際教養大学初代学長の確固たる御意思の賜物と思います。

あれから 11 年、秋田と台湾のご縁はますます深まり、観光交流、経済交流などが活発化し始めております。台湾を重要なビジネスパートナーとして位置付ける秋田県内企業も増えています。今年の 1 月には仙北市の市長をはじめとする訪問団が田沢湖と高雄市の澄清湖の姉妹湖 30 周年を祝うイベントに出席、県知事は平成 22 年から毎年連続して訪台しトップセールスを行っておられます。

また、先の東日本大震災に対する台湾のご厚情は決して忘れることができません。台湾全土の学校や職場、コンビニ、行政機関、至るところで募金活動が行われ、その結果、200 億円を超える義援金が寄せられ、日本は深い感謝に包まれました。東北に生きる私たちは、台湾の方々の善意に応え、「ありがとうございます。おかげさまで日本は元気にやっています」という復興に向かう姿を台湾の皆様に見て頂きたいと思っています。

こうして関係が深まっていく日本と台湾ですが、これからを考えると大きな問題が二つあります。

一つは、去年、いつもわたしたち日本人に「誇りを持って生きよ」と励まし叱ってくれた老台北・蔡焜燦先生も亡くなられ、日台親善の要である、深い日本理解のある「日本語世代＝トオサン世代」の方々が次々に鬼籍に入られているという、待っ

たなしの現実です。もちろん日本側の事情も同じです。

日本と台湾が未来志向の新しい関係を築くためには、若い世代に発信して興味を持ってもらって、相互理解をすすめることが急務です。

そしてもう一つは言うまでもなく、安全保障上の問題、海洋覇権国家へと、着実に拡張を続けてきた中国の脅威です。1996年の総統選では台湾海峡にミサイルを撃ち込み、その後も台湾に対する恫喝的な発言を繰り返す中国に、日本・台湾が呑み込まれず平和的に発展するには強い決意が必要です。もう一度私たち、そして若い世代が、日本と台湾の地政学的な重要性を学び、協力関係をより一層強化することが不可欠です。

このたび、私たちは、日本李登輝友の会が設立以来一貫して進めてきた、日本と台湾との交流を主軸とした新しい日台関係を構築するという諸活動・姿勢に共感し、秋田県における台湾支持の世論を盛り上げることを目的として、日本李登輝友の会秋田県支部を設立する運びとなりました。

日台交流を進めている県内および隣県友好諸団体とも連携・提携を密に行いつつ、豊かな日台交流の推進、拡大を期していきたいと思っております。

以下に掲げるような新日台関係を構築するための諸活動を鋭意実践してまいります。つきましては、多くの県民の皆様のご理解とご支援を期待申し上げます。

- 1、日本と台湾の交流の歴史や時局問題について発信することによる、秋田県内の台湾支持世論を盛り上げるための活動。講演会、その他催し物の開催。
- 2、秋田と台湾間の人的交流により、日台関係を強化するための活動。秋田—台湾間の文化的訪問交流等の実施。
- 3、これらの活動を実現するため、県内外の関係諸団体、他支部との提携・親睦、あるいは会員間の親睦を密に行い、日台親善友好団体間の協力関係を強固なものとする。

孫子の代まで平和で安心して住める日本、そして秋田を維持することは決して容易なことではありません。李登輝先生が本年六月の沖縄講演でおっしゃったように、そのためには、民主主義と自由を普遍的な価値として支持する国際社会との連携や、平和を愛する民主的かつ自由な国家と手を携える必要があります。日本と台湾がともに手を携え、新しい地平に進んでいくことを切に願っています。

日本李登輝友の会秋田県支部設立発起人

設立発起人代表

佐藤 典子 (のりこ皮ふ科院長)

設立発起人 (五十音順)

梅原 克彦 (前国際教養大学教授、元仙台市長、台湾・中信金融管理学院教授)
長田 幸子 (株式会社妙乃湯)
小野 立 (前能代市議会議員)
佐藤 一成 (由利組合総合病院院長)
佐藤 京子 (株式会社妙乃湯代表取締役会長)
中嶋 洋子 (故中嶋嶺雄国際教養大学初代学長夫人)
那波 三郎右衛門 (那波三郎右衛門事務所代表)
舩谷 政雄 (株式会社ツバサ広業代表取締役会長)
松村 讓裕 (株式会社ユーランドホテル八橋代表取締役社長)
宮原 竜也 (株式会社 宮原組代表取締役)